

**ゲンバノチカラを
最大化するための
たった一つの
冴えた考え方**

鶴谷 俊之 (つるたに としゆき)

HELLO
my name is

鶴谷俊之(つるたにしゆき)
業務システム(金融)開発者
@TTsurutani

事実

「システムにおいて、
価値を生み出すのは
正しく動作するコード
のみ」

**なぜなら、
一般に重要といわれている**

お客様との良好な関係



精緻な要件定義書・仕様書



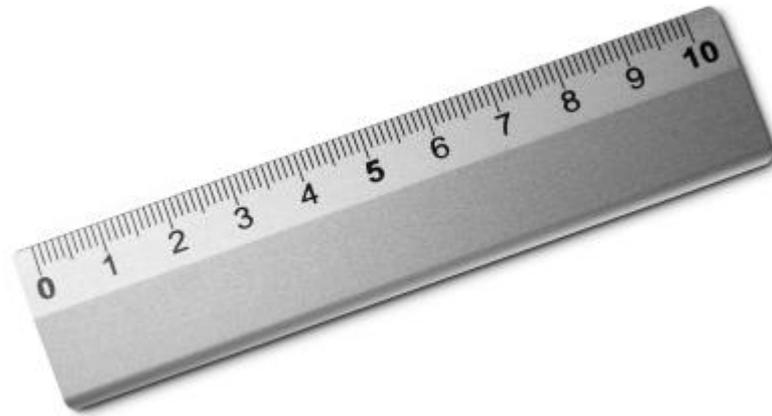
それだけでは、
価値を生み出せないからです

結論

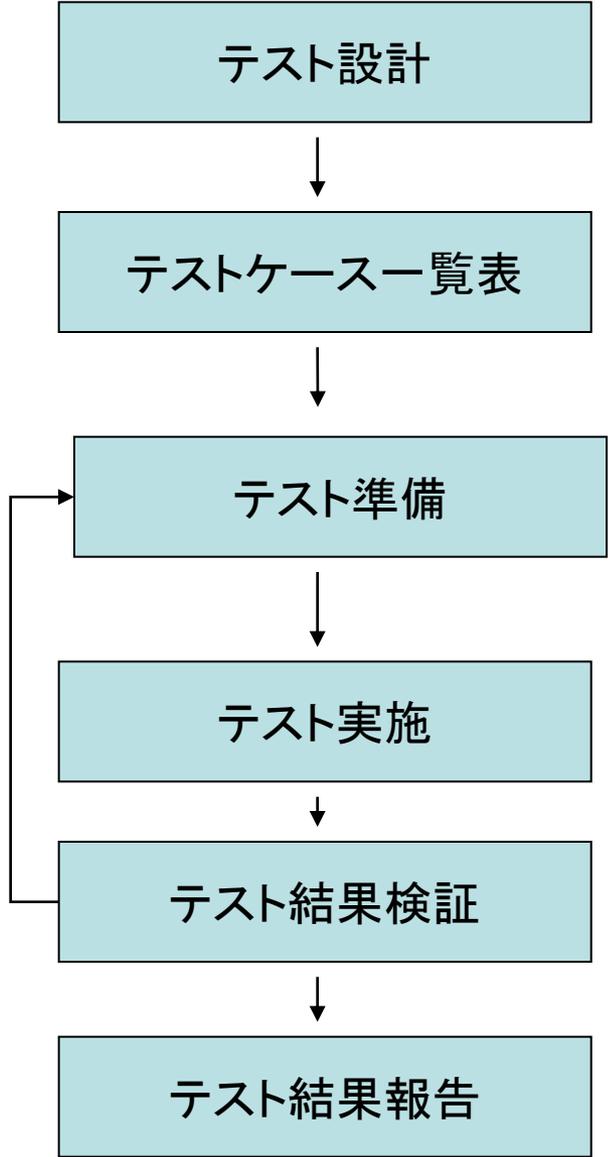
“ゲンバ（コードを生産する場所）ノチカラ”を最大化するには、
価値の源泉である

**「コードを書くこと
に開発者が専念でき
る環境をつくる」**

**この考え方（モノサシ）で
開発プロセスを見直してみましよう**



私の普段の結合テスト手順



**この中で
コードに専念することを阻む
時間泥棒は？**

中間成果物としての 設計書・ドキュメント書き





人手（ひとで）
に頼ったテスト

見直してみると

専念すべきこと

中間成果物

テスト設計

テストケース一覧表

テスト準備

テスト実施

テスト結果検証

テスト結果報告

人手

人手

人手

中間成果物

統合テスト・自動化の例

テストケース一覧.xls

対象	No	テスト項目	前提状態	テストPGM	期待結果	実行結果	time stamp	パラメータ1	パラメータn
○	1	XXXXXX	前提.xls	テスト.java	期待.xls	OK	xx:xx:xx	被テストpgm	パラメータn
×	..								

① ケース一覧から実行対象ケースを取得

⑤ 結果をタイムスタンプとともに書き戻す

⑥ ケースがなくなるまで繰り返し

② 前提状態をロード

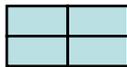
④ 実行後のDBイメージを取得し、期待結果と比較

③ 指定されたパラメータを使ってテストPGMを実施

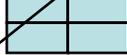


Antスクリプト

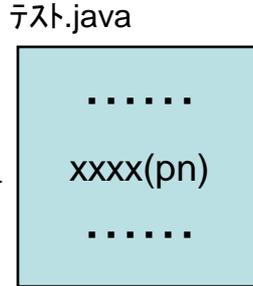
前提.xls



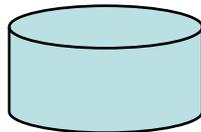
期待.xls



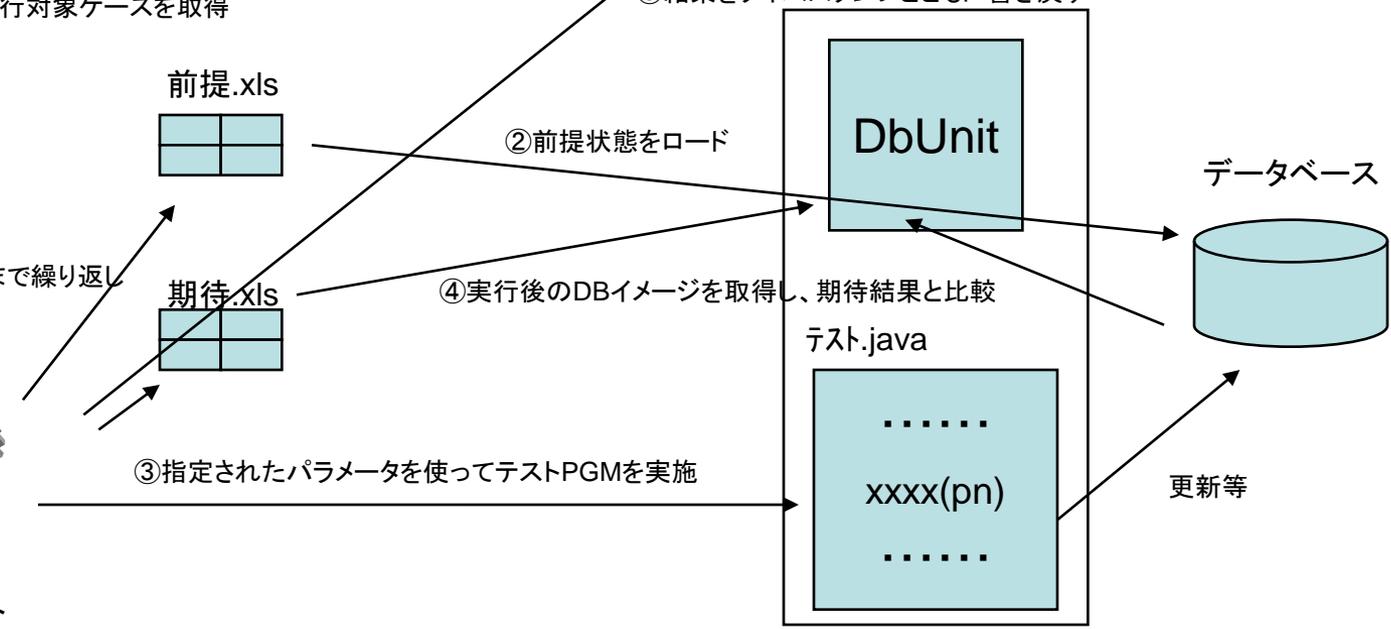
DbUnit



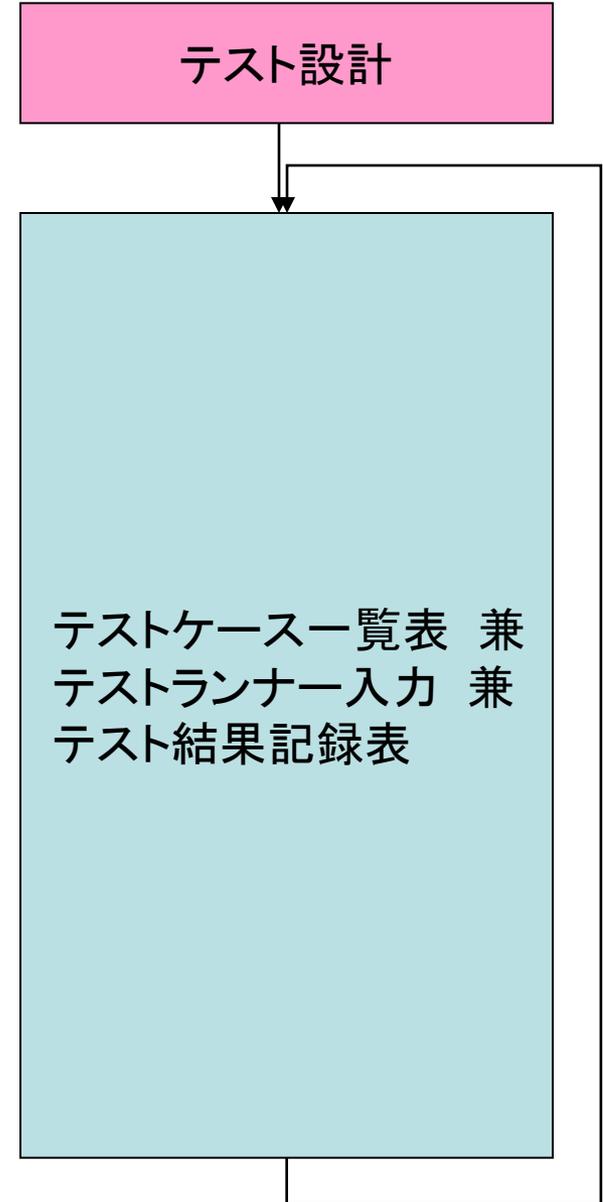
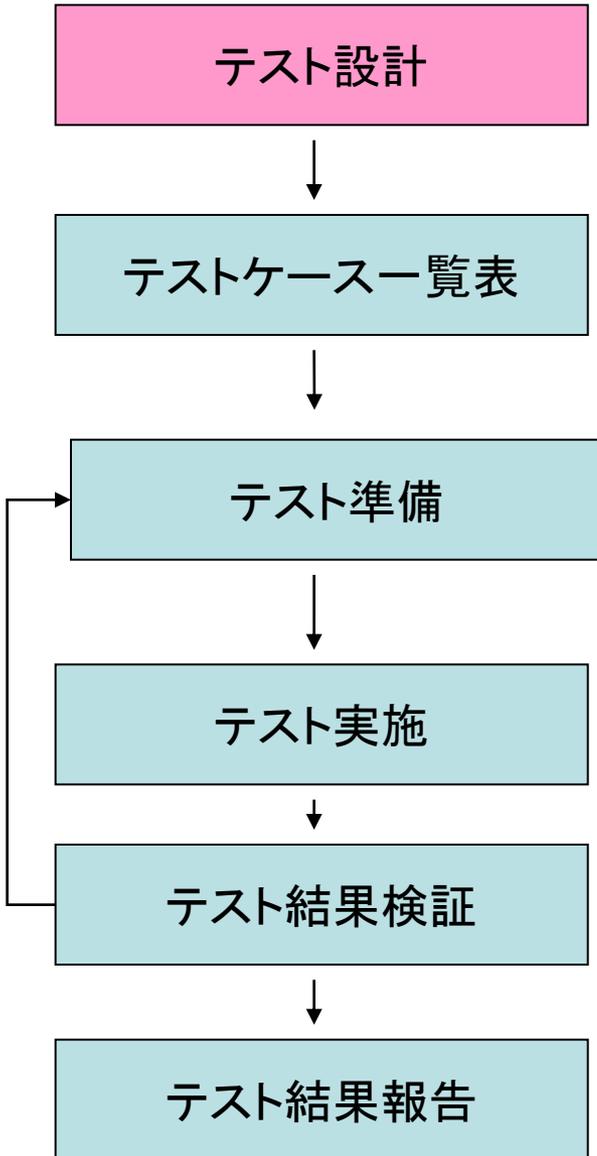
データベース



更新等



新旧比較



先を見通す（先手を打つ）



ゲンバは楽しく
happyに！

